

# たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校 横山文朗

## 音楽朝会

6年生のリコーダーによる「さんぼ」、「翼をください」の合唱、とても良かったです。全校の歌「明日は晴れる」も体育館にきれいな歌声が響いて素晴らしい週の始まりになりました。當田先生、長田先生、門野先生、ありがとうございました。

20年ほど前、二万小学校に勤めていました。そのころ町内の小中学校が輪番で研究発表会を開いていました。校長先生のお考えもあって、3年次計画で勤労生産学習の研究をすることになりました。1年次を終えて、キュウリやスイカやトウモロコシを育てたのだけれど、食べるだけが目的になっているようで、これで研究といえるのかなと皆が思うようになりました。

作物は時期を待ってくれず取り返しがつかないので大変です。わたしも含めて、皆作物を育てた経験は乏しく、汗を流しながら懸命に取り組んだ結果が、「確かに食べる時はうれしそうだけど…」では報われません。相談して先進校に視察に行き、自分たちのもやもやが晴れる何かを見つけてこようということになりました。わたしは、K先生と二人で島根県木次町（今は雲南市）の小学校に行くことになりました。

伯備線「やくも」に乗り、出雲駅で降りて木次線に乗りました。ジーゼル機動車は山肌を縫うように進み、日登駅に着きました。学校で研究について説明を受けましたが、さほど心が動くような取り組みには思えませんでした。少しばかりがっかりして日登駅にもどり、2時間もの待ち時間の間、駅の前よろず屋でパンやソーセージを買って遅い昼食をとりました。プラットホームに腰掛けて資料をみていて、研究会当日の講演の記録に目がとまりました。文部省教科調査官 宮川 八岐。「これ読んでみて。」K先生を促し、二人並んで一気に読み上げました。「ぼくたちが探していたのはこれだ。」と思いました。列車の中でも宿舎でも二人は興奮気味に話し続け、校内研究のゴールが見えたように思いました。

その講演の中に「音楽朝会」が出てきます。宮川先生が埼玉県公立小学校の校長をしている時、「音楽朝会」がありました。子どもたちはあまり乗り気でなくて声も小さくて、担当の音楽の先生はその場で歌唱指導をしました。宮川先生はこれはいかんと思って音楽の先生を校長室によびました。「音楽朝会は、みんなと歌うっていいな、みんなといるっていいなと子どもたちが感じる場でしょう。その場で先生はどうして歌い方や声の大きさの指導をするんですか。」音楽の先生はひるまず、「担任の先生方が教室で指導してくれないからです。」と反論しました。「工夫をしましょうよ。カセットテープを買って教室に配ったらどうです。」翌月は、各学級でよく練習できていて、楽しくそしてしっとりとした音楽朝会になったそうです。

教員になっていろんな人の話を聞き、いろんな本を買いましたが、宮川先生は、わたしよりも影響を受けた人です。学校行事の全国大会が東京で開催された時も、校長先生にお願いして宮川先生の話の聞きに行きました。シンポジウムで同僚の教科調査官の主張を論破し、切って捨てた時はすごみがありました。

本校の音楽朝会が昨日のように、「みんなと歌うっていいな、みんなといるっていいな。」と子どもたちが思えるものであり続けてほしいと思っています。